

	視点	4 年間の目標 (令和6年度策 定)	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
			1 年間の目標	具体的な方策	評価の観点	達成状況		課題・改善方策等	成果と課題
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図り、進路実現に向けた支援を推進する。  ②国際理解教育等を通して、生徒一人ひとりの自立に向けて、視野を広げ豊かな人間性と社会性を育成する。	①生徒の学力向上に資するために学習環境の整備を行うとともに、研修や授業互見等を通じて組織的授業改善に取り組む。  ②姉妹校等交流や留学生との交流活動をととして、生徒一人ひとりが主体的に取り組める機会を増やし、その機会の推進を図る。	①(1)電子黒板や一人一台端末等 ICT 機器の利活用の促進を行うなど、多様な学習機会を提供し、生徒が自ら学習する意欲の向上を図る。 (2)研修や授業互見等の際は「教え方」「教材選び」「生徒目線」等の視点も持って授業研究を行う。 ②姉妹校交流や海外修学旅行・留学生受入等において、生徒の主体的な活動を引き出し、相手校の生徒と共に意義深い経験となるよう取組を継続する。	①(1)ICT 機器の利活用が進んだか。 ・生徒の学習意欲の向上について、授業評価のうちの自己評価の項目において2/3 程度以上の生徒がプラスに評価したか。 (2) 具体的な方策の視点に立った組織的授業改善に取り組むことができたか。  ②生徒が主体的に取り組める場面や活動満足度が上がったか。				
2	生徒指導・ 支援	①生徒のさまざまな活動の主体性を尊重し、生徒に向き合って、リーダーシップを育成する。  ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を充実させる。	①生徒組織それぞれの自主的・主体的な運営を促すとともに責任を持たせ、有意義な活動と達成感の向上を目指して、適切な指導と助言を行う。  ②生徒のメンタル面での変化を早期にとらえ、外部人材とも連携を図りながら、適切かつ丁寧な対応を行う。	①生徒会本部及び各種委員会等がそれぞれ課題を認識し目標を立て、協力しながら達成に向けた活動が行われるよう支援する。また、部活動が達成感と育ちあいの生まれる場となり、それが安全な環境で行われるために、支援と環境整備を行う。  ②日ごろの職員間の情報共有及びサポートドック、学校生活アンケートの結果等を活用し、自ら SOS を発	①各種活動や行事において、生徒による自主的・主体的な検討及び総括ができたか。また、生徒アンケートで活動満足度が十分に見えたか。  ②サポートドックおよび学校生活アンケートの結果等を適切に活用することがで				

	視 点	4 年間の目標 (令和6年度策 定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				せない生徒の早期 発見を目指す。学 年会や教育相談 C0 会議等における生 徒情報の共有を充 実させ、チームに よる支援を行う。	きたか。学年会およ び教育相談 Co 会議等 での生徒情報の共有 を充実させ、適切な 支援につなげること ができたか。					
3	進路指導・ 支援	キャリア教育 を充実させ、 目的意識を持 って学習に取り 組む姿勢を 育む。	生徒自身が希 望する進路に ついて考え判 断する力を育 めるよう、家 庭とも連携し ながら3年間 を通して必要 かつ適切な支 援を行う。	3 カ年を通じてキャ リアガイドブック の活用、外部テス トの受験、現行の 教育課程入試への 対応、年内入試へ の対策等を充実さ せ、系統的な進路 指導を行う。	・引き続きキャリア 教育プログラム充実 を図るとともに、説 明会やガイダンス、 体験の機会、各種試 験を有機的に結び付 けて実践することが できたか。					
4	地域等との協 働	地域等への貢 献活動や教育 力の活用を通 して、地域に 信頼される学 校づくりを推 進する。	地域理解を図 るとともに、 地域貢献が生 徒の自己肯定 感につながる ような教育活 動を実施す る。	①地域貢献活動につ いて、生徒の意 見を取り入れる 等、主体的な活動 となるよう検討や 工夫を行う。 ②防災訓練や地域 理解活動を通じ て、地域との交流 を深め、地域防災 について連携強化 を図る。	①地域貢献活動につ いて、生徒の主体的 な活動となるよう検 討や工夫したか。  ②地区の防災訓練参 加に向けた取組等、 地域連携をすすめる ことができたか。 ・防災教育において 地域理解をすすめる ことができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全・安 心で充実し た教育環境 の整備に努 めるととも に、学校の 取り組みの 情報発信に 努める。  ②教員の働き 方改革を推進 し、組織的な 学校運営と校 務の効率化を 図る。	①社会で必要 とされる学校 となるよう継 続した職員・ 生徒の意識向 上を図り、生 徒の学習活動 における安全 面の向上、 また施設の環 境整備・充実 に努める。  ②働き方改革 の指針改定を 踏まえた取組 を進める。	①清掃計画を立て るとともに環境整 備委員や技能員、 PTA と協力・連携し て、校内美化やゴ ミの減量化及び資 源化に努める。 事務や各機関と連 携し、校内の危険 個所の修繕などを 積極的に推し進め る。 ②働きやすさと働 きがいの両立に向 けて、風通しの良 い職場づくりや業 務分担・内容の見 直しを継続する。	①環境整備体制を整 えるとともに各機関 との意見交換より校 内美化に対する意識 や取組が向上した か。 ・危険箇所の修繕・ 及び安全面に配慮し て施設整備を推し進 められたか  ②職員の時間外在校 時間が減少したか。 ・ストレスチェック で高ストレス者の割 合が 15%未満であっ たか。					